

帝都復興小公園に関するレビュー

中川 恵¹

¹学生会員 東京大学大学院 工学系研究科社会基盤学専攻 (〒113-8656 東京都文京区本郷七丁目 3-1)

E-mail: kei.nakagawa923@gmail.com

本稿では関東大震災の発災から百年を受けて、帝都復興小公園事業に関する既往研究のレビューを行い、復興小公園を扱う研究の位置づけを整理した。

Key Words: *small urban parks, Tokyo Reconstruction Project, the Great Kanto Earthquake, review*

1. はじめに

2023年9月で関東大震災から百年が経過する。日本の都市空間形成上、重要な出来事であったことは疑いようがなく、各分野で多くの研究がなされている。特に周年のタイミングには注目度が高まり、これまでも震災およびその後の帝都復興事業が顧みられてきた。

本稿では帝都復興事業のうちの一つ、復興小公園事業に関する既往研究のレビューを行い、その位置づけを整理する。

レビュー対象は関東大震災後の帝都復興小公園および小公園事業そのものについて理解を深めることを目的にするもの、または分析対象そのものとするものに限り、分析対象の前提として復興小公園に触れるものや、「帝都復興小公園」としての位置づけで扱っていないものは含まない。対象とした研究を視座によって分類して整理する。なお本稿では網羅性を重視しない。復興小公園に関する研究動向を把握することではなく、あくまでも復興小公園を扱う既往の研究における着目点や位置づけを把握することを目的としているためである。また、学術誌掲載論文（紀要を含む）を中心に扱う。

2. 帝都復興事業総論

帝都復興事業全体を扱う研究の中で、復興事業内の一事業として復興小公園を扱うケースがある。

まとまった調査として内閣府によるものがある¹⁾ほか、発災90年時の土木史研究発表会セッションのイントロダクションとし復興事業の全体像を紹介するもの²⁾、東

京の都市計画について扱う越沢の一連の著作³⁾⁴⁾などがある。

これらの研究は土地区画整理事業や幹線街路事業といった事業規模の大きな国施行事業を中心に扱い、東京市の事業である小公園事業はそうした中心事業に比べ簡素な記述に終始する傾向にある。

3. 公園史

日本における近代公園の成立過程を明らかにすることを大目的として復興小公園を分析対象として扱うものが、復興小公園研究としては主流である。

復興小公園そのものの特徴を理解するものとしては、小公園の成立経緯と変容の過程を記述するもの⁵⁾、平面形態を意味論の視点から分析するもの⁶⁾、形式の類型化とともに小公園供用に至るまでの社会の反応を時系列で記述分析するもの⁷⁾などが挙げられる。

分析対象は復興小公園ではないものの、復興大小公園のルーツを探ることを目的に明治期の公園設計を扱うもの⁸⁾もある。

また、明治から昭和初期にかけての都市公園の配置計画の一つとして復興小公園に触れるもの⁹⁾など、通史の中に位置付けて記述するものがある。

4. 公園計画論・設計論

公園を計画、設計する技術にフォーカスし、技術の史的展開を扱う中で復興小公園を対象とするものがある。

市区改正～戦災復興にわたる複数事業について計画図

面と計画標準の関係を論じる論文¹⁰⁾では、公園配置の計画標準に定められる公平均等という制約と、図面化に現前する具体的場所性という矛盾しうる2つの計画技術の関係性を記述しており、現在にも通ずる計画論の課題に取り組んでいる。

5. 都市計画史

都市における公園・緑地・公共空間としての復興小公園のあり方にフォーカスし、近代都市空間の成立に迫るための一側面として復興小公園を扱うものがある。

たとえば、都市空間の質を規定する公共空間の合理的配置の一例として復興小公園を扱い、その実現の背景に土地区画整理事業による用地取得の影響を指摘するもの¹¹⁾などがこの分類にあたるだろう。

6. 教育

復興小公園の特徴である、小学校と隣接させることで小学校の校庭（運動場／学校園）と兼用とする、という設置の意図を踏まえ、復興小公園を教育施設の視点から分析するものがある。

震災以前からの学校園整備の社会的要請から復興小公園の成立経緯を論じるもの¹²⁾や、地域に開くことを求められ始めた小学校との関係の中で小公園も合わせて活用していくことを目指し小学校との空間構成の関係の変遷を記述するもの¹³⁾などがある。

7. その他

都市公園の防災機能について論じる上で復興小公園を扱うものがある。例えば、防災と公園緑地の関係を通史的に記述し公園緑地行政について論じるもの¹⁴⁾などがある。

法学や行政学といった人文学分野では、都市公園政策を論ずる対象として復興小公園を扱う一連の研究¹⁵⁾などがある。

REFERENCES

- 1) 中央防災会議 災害教訓の継承に関する専門調査会：1923 関東大震災報告書【第3編】，2009.

- [Chuuou Bousai Kaigi Saigaikyokun no Keishou ni kansuru Senmon Chousakai, 1923 Kanto Daishinsai Houkokusho 【Dai 3 pen】，2009]
- 2) 伊東孝祐，大沢昌玄，伊東孝：帝都復興事業について，土木史研究講演集，Vol.34，pp.41-44，2014. [Ito, K. Osawa, M. and Ito, T.: Teito Fukkou Jigyo ni tsuite, Dobokushi Kenkyu Kouen Shu, Vol.34, pp.41-44, 2014.]
 - 3) 越沢明：東京都市計画物語，ちくま学芸文庫，2001. [Koshizawa, A.: Tokyo Toshi Keikaku Monogatari, Chikuma Gakugei Bunko, 2001.]
 - 4) 越沢明：東京の都市計画，岩波新書，1991. [Koshizawa, A.: Tokyo no Toshikeikaku, Iwanami Shinsho, 1991.]
 - 5) 赤坂信：震災復興小公園の変容にみる改造の契機とその過程，千葉大園学報，第35号，pp.47-68，1985. [Akasaka, M.: Shinsai Fukkou Shoukouen no Henyou ni miru Kaizou no Keiki to sono Katei, Tech. Bull. Fac. Hort. Chiba Univ. , Vol.35, pp.47-68, 1985]
 - 6) 河野和也，宮城俊作，田畑貞寿：震災復興52小公園の平面形態の分析，造園雑誌，56(5)，pp.367-372，1993. [Kohno, K. Miyagi, S. and Tabata, S.: A Semantic Analysis of the Plan View of the Small Urban Park Designed during the Reconstruction Period after the Great Kanto Earthquake in 1923, J.JILA, 56(5), pp.367-372, 1993.]
 - 7) 進士五十八，吉田恵子：震災復興公園の生活史的研究，造園雑誌，52(3)，pp.155-165，1989. [Shinji, I. and Yoshida, K.: A Life-historical Study on the Reconstructive Parks in Tokyo, J.JILA, 52(3), pp.155-165, 1989.]
 - 8) 小野良平：震災復興期に至る公園設計の史的展開について，造園雑誌，53(5)，pp.73-78，1990. [Ono, R.: The Historical Developments of Park Design in Japan (Middle Meiji-Early Showa), J.JILA, 53(5), pp.73-78, 1990.]
 - 9) 蓑茂寿太郎：わが国における公園配置計画の変遷と特性，昭和63年度第23回日本都市計画学会学術研究論文集，pp.205-210，1988. [Minomo, T.: The Historical Study on the Planning of Public Park-placement in Japan, Toshi Keikaku Ronbunshu, 23(0), pp.205-210, 1988.]
 - 10) 杉田早苗：近代東京の公園計画にみる計画図面と計画標準の関係の変遷，公益社団法人日本都市計画学会都市計画論文集，No.40-1，pp.1-8，2005. [Sugita, S.: A study on the change of the relationship between plan and planning standards of park planning in Tokyo, Journal of the City Planning Institute of Japan, No.40-1, pp.1-8, 2005.]
 - 11) 中川恵，中井祐：土地区画整理事業との関連からみた帝都復興小公園計画の成立経緯と史的意義，土木学会論文集 D2 (土木史)，76 (1)，pp.71-82，2020. [Nakagawa, K. and Nakai, Y.: The Process and the Background, and Historical Significance of Planning Small Urban Parks in Tokyo Reconstruction Project after the Great Kanto Earthquake from the Viewpoint of the Relation to the Land Readjustment, Journal of Japan Society of Civil Engineers,

Ser. D2 Civil Engineering History, Vol.76, No.1, pp.71-82, 2020.]

- 12) 田中千賀子：東京市の公立小学校における学校園の展開，日本の教育史学，55 巻，pp.32-44，2012. [Tanaka, C.: Development of Gakkouen for Public Elementary Schools in the City of Tokyo, Japan Society for the Historical Studies of Education, No.55, pp.32-44, 2012.]
- 13) 石山千代，北沢猛，西村幸夫，窪田亜矢：震災復興小公園と小学校の関係に関する研究-52 箇所の空間構成と利用の変遷過程を中心に-，2001 年度第 36 回日本都市計画学会学術研究論文集，36 巻，pp.235-240，2001. [Ishiyama, C. Kitazawa, T. Nishimura, Y. and Kubota, A.: A Study on the Relation between Primary Schools and Small Urban Parks in Tokyo Designed during the Reconstruction Period after the Great Kanto Earthquake Disaster in 1923 Focusing on Transitional Process of Spatial Structure and Utilization in All 52 set, Toshi Keikaku Ronbunshu, 36 (0), pp.235-240, 2001]
- 14) 末永錬司：防災と公園緑地行政，ランドスケープ研究，60(2)，pp.133-135，1996. [Suenaga, R.: Protection against Disasters and Park and Greenery Administration, J.JILA, 60(2), pp. 133-135, 1996.]
- 15) 申龍徹：都市公園政策の歴史的変遷過程における「機能の社会化」と政策形成(1)，法学志林，100 巻 2 号，pp.83-163，2003. [Shin, Y.: Toshi Kouen Seisaku no Rekishiteki Hensen Katei ni okeru “Kinou no Shakaika” to Seisaku Keisei(1), Review of law and political sciences 100 (2), pp.83-163, 2003] に始まる 6 編

(Received April 10, 2023)